

広島県公立高校入試－傾向と直前の勉強法（国語）

傾向

近年は、大問1が文学的文章、大問2が説明的文章、大問3が古文、大問4が条件作文という大問4題の形式になっており、2020年度も同様の形式での出題となりました。2019年度の大問4の条件作文は、「250字以内」という指定字数（2017年度から）でしたが、2020年度は「200字以内」になっています。配点は変わらず10点です（2018年度から）。

[1] 小説文

2020年度は横光利一「笑われた子」からの出題でした。ここ数年、中学生には難しい言い回しや比喩表現が出てくる小説文が多く出題されています。2020年度は主人公の母親がどのような人物かを本文の内容を根拠に挙げて考えを書くという問題が出題されました。2019年度も「主人公の人物像」を読み取る問題が出題されており、「登場人物の人物像」をとらえる力が必要です。

【過去5年の小説文の出典】

- 2020年「笑われた子」（横光利一）
- 2019年「我鬼」（菊池寛）
- 2018年「白鳥」（三島由紀夫）
- 2017年「或る朝」（志賀直哉）
- 2016年「ざくろ」（川端康成）

[2] 論説文

広島県の説明的文章の問題は、例年「国語の教科的な内容」に関する文章が出題されていましたが、2019年度は「雑草」に関する文章、2020年度は「モランディの絵」に関する文章でした。例年通り、「文章の要点を整理した資料」をもとに考える記述問題が出題されています。この問題では文章と資料とを正確に照らし合わせて読む力が要求されます。

【過去5年の論説文の出典】

- 2020年「いちまいの絵」（原田マハ）
- 2019年「雑草はなぜそこに生えているのか」（稲垣栄洋）
- 2018年「読む心・書く心」（秋田喜代美）
- 2017年「自然再生」（鷺谷いづみ）
- 2016年「古典論」（外山滋比古）

[3] 古文・漢文

広島県では、昨年を除き、古文単独の出題が定着しています。2020年度は「御伽草子集」からの出題でした。難問はなく、中学校で習う内容が理解できていれば解けますが、入試までに同じような公立高校の古文・漢文の問題演習に慣れておくことが高得点を取るカギです。

【過去5年の古文の出典】

- 2020年「御伽草子集」
- 2019年「春夜洛城聞笛」（漢文と書き下し文と鑑賞文）
- 2018年「沙石集」（古文単独）
- 2017年「十訓抄」（古文単独）
- 2016年「去来抄」（古文単独）

[4] 条件作文

2020年度は作文の題名についてのアドバイスを書く問題でした。例年、作文力だけでなく、資料を読み取る分析力・理解力が要求されるもので、資料型の条件作文の練習をしておく必要があります。

出題内容

分野		2018	2019	2020	
現代文	主題・要旨把握	17	8	5	
	内容吟味	8	14	17	
	接続詞・副詞補充	0	2	2	
	適語補充	0	0	0	
	その他	1	1	1	
	漢字（読み・書き）	4	6	6	
古典	主題・要旨把握	4	4	4	
	内容把握	5	3	4	
	古典知識	1	2	1	
作文	読解・条件作文	10	10	10	
		選択肢問題 配点	7	5	9
		記述問題 配点	43	45	41

直前の勉強法

(現代文の対策)

- 説明的文章では、各段落の意見文や中心文（キーワードのある箇所）に線を引きながら読み進めていく練習を継続しましょう。
- 問題の解き直しをする時には、解説を読み、文章中のどこに解答に使う語句があったのかを確認します。その場合、自分が解答の根拠と考えた箇所と一致しているかどうか確認しましょう。

(古文・漢文の対策)

- 高度な古典単語や文法の知識は必要ありませんが、基本的な古語の意味は暗記しておきましょう。
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題は確実に得点できるように、練習しておきましょう。
- 古文・漢文の「あらすじ」が読み取れるように、教科書、塾のテキスト、的中ゼミのテキスト等の本文、現代語訳を読んでおきましょう。

(漢字の対策)

- 的中ゼミで使用している教材に掲載している漢字の問題を何回も練習して、漢字の読み書きができるように確認しておきましょう。

(作文の対策)

- 的中ゼミなどで使用した教材を復習しましょう。

広島県公立高校入試－傾向と直前の勉強法（社会）

傾向

1 【地理分野】

2019年度は日本地理からの出題でしたが、2020年度では、日本地理と世界地理の融合問題が多く出題されました。「茶の生産量」「貿易」に関して地図や資料から読み取り解答する記述式問題が出題されました。仮説を確かめるためにどのような資料が必要か、を考えて答えさせるような記述式問題もありました。2020年度に向けては、「時差・経線・緯線」「人口や産業」「気候（雨温図）」「貿易」「グラフや資料の読み取りについての記述」にも注意し、世界全図・日本全図あるいは広い地域の地図を用いた問題、資料を多く使用した問題、記述を中心とした問題に慣れておきましょう。

2 【歴史分野】

歴史分野は、日本と外国との関わりに注目して班ごとに「時代の特色」をまとめるという設定で、問題が作成されました。古代から現代の時代区分のカードをもとにそれぞれの政治・経済・外交についての問題が出題され、各時代の基本的・標準的な知識や理解が必要とされました。日本史中心の7問構成で、世界史は記述式問題で1問出題されました。歴史では、古墳時代（5世紀）～高度経済成長（20世紀末）のできごとを問う問題がよく出題されるので、各時代の政治・人物・事件・法令・文化に注意し学習を進めましょう。ただ、消費税導入の必要性を考えるなど思考力を試される問題も出題されたことは新しい傾向です。

3 【公民分野】

政治分野、とくに裁判に関する表をもとにして問題が作成されました。2019年度は国際分野からのみ出題されましたが、2020年度は政治分野のみの出題でした。公民分野は6問中3問が記述式問題でした。知識が必要な記述式問題ではなく、資料を読み取って考察し表現する力が必要な問題でした。2021年度に向けては、時事的な問題にも関心を持ち、政治分野、経済分野をバランスよく学習しておくことが大切です。近年ニュースで取り上げられることの多い、「少子高齢社会」「1票の格差の問題」「働き方改革」「消費税」「難民」などに注意し、社会情勢の動向にも関心を持ちましょう。

4 【総合問題】

2020年度は「地方公共団体の政策」をテーマとし、地理、歴史、公民の各分野から出題されました。4の総合問題は、あくまでも教科書内容の語句や知識を問うものが中心です。したがって、1・2・3のための学習をしておけば4のための対策は特に必要ありません。

2021年度は、例年同様に1地理分野、2歴史分野、3公民分野、4総合問題の4題構成、全25問程度の出題が予想されます。2020年度の記号選択問題は、4問で全体の17%でした。論述式問題は、24問中15問（63%）と、過半数が論述式の出題です。2015年度以降続く記述式問題中心の出題は、今後も続く予想されます。写真やグラフなど資料から読み取り自分で考え解答する問題の出題も考えられます。

出題内容

分野		2018	2019	2020
地理	日本	9	12	5
	世界	5	0	5
	融合・その他	7	3	2
歴史	日本史	11	11	12
	世界史	2	2	2
	融合・その他	3	5	0
公民	政治	0	0	12
	経済	13	0	0
	国際	0	12	0
	現代社会・融合・その他	0	5	6
記号問題 配点		5	12	5
語句問題 配点		5	7	5
記述式問題 配点		40	31	40

直前の勉強法

すべての分野をていねいに学習するようにしておきましょう。また、語句問題の配点と比べ、記述式問題の配点が高くなっています。記述式問題で得点を重ねていくために、語句の単純暗記ではなく、内容もきちんと把握しておきましょう。

基本事項の暗記には、『塾テキスト』や猛特訓会で使用した『全問必答』を使い、キーワードを理解・暗記するようにしてください。また、出題形式に慣れるためには、『的中ゼミ』・『正月特訓』などの教材の解き直しをしましょう。それらは地理・歴史・公民の分野別に構成されています。苦手分野にしばらく学習を進めましょう。記述式問題は2019年度に13問、2020年度に15問出題されました。2021年度も15問程度の出題が予想されます。記述式問題を避けての高得点はありえません。「図表・グラフ・写真から考えさせる問題」が多く出題されています。『的中ゼミ』の教材にはそうした問題が豊富にあるのでしっかり復習し、図表やグラフ・写真のどの点に着目して解答を作ればいいのかをよく確認しておきましょう。『大晦日理社記述特訓会』も記述のポイント確認に大変役に立ちます。また、『塾テキスト』や『全問必答』などの「一問一答式問題」を利用し、それぞれの語句の説明ができるようにするのも、記述式問題の対策になります。

時事的な問題（「政治関連」「社会情勢」など）に対応するためには、日ごろから新聞などのニュースに注意しておきましょう。

近年「記述式問題」が60%以上の高い割合で出題され続けています。資料を読みとり、判断し、説明する力が求められています。基本用語をまず確認し、次に用語をどのように使うべきか自分でしっかり考えることが必要です。ただ暗記して終わりでは入試に通用しません。そのことを意識して学習しましょう。

広島県公立高校入試－傾向と直前の勉強法（数学）

傾向

大問の構成が2019年度と同じく6題でした。文章の読解力、思考力、応用力が必要な問題が増えており、今年度もその傾向があると考えられます。全体として難易度は高くありませんが、問題文が長い大問や記述問題が増えているため、時間内に解くための練習が必要です。

大問1…計算問題が5問と、立体の投影図、正三角形の周の長さ、2つのサイコロの出る目の数の和が10になる確率の3問で、配点は2点×8問=16点。

大問1は昨年と同じく8問で、平均正答率が78.2%と難易度は高くなく、教科書レベルの問題のため、ここでは点数を取っておきたいです。

大問2…(1)標本調査、(2)三平方の定理、(3)連立方程式の文章題の3問で、配点は(1)(2)が3点で、(3)が4点。正答率が(1)70.6%、(2)53.2%、(3)39.8%でした。(3)は求める過程を書く問題でした。

大問3…資料の活用で、(1)は最頻値を求める問題、(2)は相対度数に着目して考える問題でした。

配点は3点×2問=6点。正答率が(1)62.7%、(2)30.1%。

大問4…連続する4つ、5つの整数について成り立つ性質を考える問題でした。配点は(1)が4点で、(2)が3点。正答率が(1)46.7%、(2)30.7%でした。特に、(2)は他にも成り立つ性質を調べる問題で、「数学的な思考力」と「説明する応用力」が必要でした。

大問5…円周角の定理を用いて、直角三角形の合同を証明する問題でした。配点は5点でした。正答率は14.2%と低く、部分正答率は47.0%でした。与えられた条件から図形を考察し、2つの図形が合同であることを証明する問題でした。

大問6…2次関数のグラフの問題でした。(1)は点の座標から、三角形の面積を求める問題で正答率は55.2%ですが、(2)では正答率が4.4%で数学の全問題中で最も正答率が低くなりました。内容は与えられた条件に基づいてグラフを考察するもので、思考力を必要とする問題でした。

総計 18 問 満点 50 点

対策

基本問題と応用問題がしっかりと分かれた形になりました。近年、どのように考えたかを記述する問題が出題されているので、過去問などで練習が必要です。また、基本問題での得点は欠かせません。的中ゼミや普段使用しているテキストに類題があるので、これらの教材で復習をしておきましょう。

また、文章をしっかりと読んで考える問題も増えています。単純な計算能力だけでなく、図形に対する洞察力や直観力も必要になっているため、多くの問題に触れ、見識を広めることが不可欠です。

出題内容

分野			2018	2019	2020	
数と式	【中1】	正負の数・文字式の計算	2	2	4	
数と式	【中1】	方程式	2	0	0	
数と式	【中2】	文字式の計算・文字式による説明	5	2	7	
数と式	【中2】	連立方程式	0	2	4	
数と式	【中3】	式の展開・因数分解・平方根	2	6	4	
数と式	【中3】	2次方程式	0	4	2	
関数	【中1】	比例・反比例	5	2	2	
関数	【中2】	1次関数	8	5	0	
関数	【中3】	関数 $y = ax^2$	5	3	6	
図形	【中1】	平面図形	2	0	0	
図形	【中1】	空間図形	2	2	2	
図形	【中2】	合同・図形の性質	2	8	5	
図形	【中2】	平行線と角・多角形と角	0	2	0	
図形	【中3】	円周角	5	3	0	
図形	【中3】	相似	4	0	0	
図形	【中3】	三平方の定理	2	4	3	
数量関係	【中1】	資料の活用	2	3	6	
数量関係	【中2】	確率	2	2	2	
数量関係	【中3】	標本調査	0	0	3	
			計算問題 配点	6	8	10
			小問集合 配点	24	21	16
			単元別総合問題 配点	20	21	24

直前の勉強法

入試では、いかにミスをしないうで「自分が解くことができる問題」を確実に得点するかが重要です。

- 四則計算はもちろんですが、根号を含む計算や2次方程式（解の公式）などもしっかり確認しましょう。
- 標本調査・資料の活用で出てくる基本的な用語を覚えましょう。
- 角度の問題を塾のテキストを使って確認しましょう。
- 確率(さいころ)は丁寧に表を書いて調べる練習をしましょう。
- 確率(並べ方、選び方)は樹形図のかき方を確認しましょう。
- 文字を使った説明(整数の性質)の書き方を確認しましょう。
- 座標平面上の線分の長さや面積を求める練習をしましょう。
- 合同条件や相似条件、図形の性質をしっかり確認しましょう。
- 先生と生徒の会話文など、文章から問題を解く練習をしておきましょう。
- 学校の教科書にある活用の部分も参考にしておきましょう。

広島県公立高校入試－傾向と直前の勉強法（理科）

傾向

2020年度はこれまでと同じく、大問数は4題でした。総問題数は30問で例年に比べ増加しました。問題の構成は、大問1は「物理」分野、大問2は「地学」分野、大問3は「生物」分野、大問4は「化学」分野となっており、例年通り、4つの分野からまんべんなく出題されています。履修学年別にみると、各学年の内容からまんべんなく出題されており、来年度も各学年・各分野からまんべんなく出題されると考えられます。出題内容としては、作図問題が出題されず、計算問題は4問でした。計算問題のレベルは他県に比べて低く、教科書レベルの計算ができれば大丈夫です。また、今年度は語句・選択問題の割合が高くなり、記述問題の割合が低くなりました。ただ、全体の30%は完答問題で占められており、片方が正解でも部分点はないので注意が必要です。ここ2016年～2018年は、思考力を問う問題や、丸暗記では対応できない問題などの出題が多くあり、全国的に見ても最高難度のレベルで、平均点も20点を下回るような年度が続いていました。しかし、昨年度からそのような問題の出題が減り、今年度も教科書レベル・一般的な入試レベルの問題が中心に出題されました。そのため難易度は下がり、広島県内受験者平均点は28.6点でした。ただ、この傾向が来年度以降続くかは分かりません。思考力を問う問題や初見の問題に対する思考力のトレーニングは引き続き行っていく必要があると考えられます。

過去5年間の出題状況…（ ）内の数字は履修学年

	2016	2017	2018	2019	2020
大問1	発熱反応(2)	天気(2)	感覚器官・神経(2) 生態系(3)	状態変化(1)	運動とエネルギー(3)
大問2	植物の成長(3)	イオン(3)	地震(1)	植物(1)	地層と堆積岩(1)
大問3	ばねと浮力(1)	光の性質(1)	運動とエネルギー(3)	電流と磁界(2)	動物の分類と進化(2)
大問4	天体(3)	遺伝(3)	化学変化(2)	天体(3)	化学変化と質量(2)

過去5年間の解答形式の割合

	2016	2017	2018	2019	2020
記述	33%	48%	42%	42%	27%
語句	17%	12%	13%	21%	27%
選択	38%	16%	29%	25%	33%
作図	4%	12%	8%	4%	0%

計算	8%	12%	8%	8%	13%
----	----	-----	----	----	-----

対策

全単元から出題されるため、苦手な単元があると高得点が望めず、合否に大きな影響を及ぼします。基本レベルの知識は全て復習をして、苦手単元がないようにしておくことが大切です。1年生から3年生の教科書に載っている実験や観察の過程と結果をもう一度しっかり見直す事で得点は格段に向上すると考えられます。

出題内容

分野別 配点		2018	2019	2020
中1	【化学分野】 物質のすがた	2	9	0
	【物理分野】 光や音、力でみる世界	0	0	0
	【生物分野】 植物の生活と種類	0	10	0
	【地学分野】 大地の変化	10	0	15
中2	【化学分野】 化学変化と分子・原子	4	3	12
	【物理分野】 電流とその利用	0	13	0
	【生物分野】 動物の生活と種類	17	0	10
	【地学分野】 天気とその変化	0	3	0
中3	【化学分野】 化学反応とイオン	0	0	1
	【物理分野】 運動とエネルギー	15	0	12
	【生物分野】 生命の連続性	0	0	0
	【地学分野】 地球と宇宙	0	12	0
	【環境分野】 自然と人間	2	0	0
記号問題 配点		12	11	18
語句問題 配点		6	10	9
記述式問題* 配点		32	29	23

※…計算・作図を含める。

直前の勉強法

現時点で苦手な単元がある場合は一刻も早くそれを克服する必要があります。まずは、学校の教科書を使い、内容を確認しましょう。そして塾のテキストや問題集を使って演習をして下さい。その後、解説を見て、間違えた問題は必ず書き直しをして下さい。

- 教科書の実験方法や結果を確認する。
- 夏・秋の猛特訓会の教材を使って、基本的な用語や記述問題の確認をする。
- 大晦日理社記述特訓会の教材を使って、記述問題の練習をする。
- 的中ゼミや正月特訓、夏の公立高校入試対策講座の教材を何度も書き直しをする。

入試問題や塾教材などの問題をいくら数多く解いても、○付けだけで終わってしまい、また同

じような問題で間違えていては、得点は向上しません。○付けをし、『間違い直し専用のノート』を作って、間違えた問題はそのノートに書き直すことをお勧めします。専用ノートを作る目的は、自分の弱点を明らかにし、何度も書き直すことで、次に同じような問題が出題されたときには確実に正解できるようにすることです。間違い直しノートには、書き直した答えを書くだけでなく、その問題で先生が解説した重要なポイントがあれば、それを記入しておきましょう。そうすることで、入試直前は間違い直しノートを見直せば、苦手なところを集中して最後の確認をすることができます。

広島県公立高校入試－傾向と直前の勉強法（英語）

傾向

例年通りであれば、大問1がリスニング、大問2が対話文読解、大問3が長文読解、大問4が資料及び絵をもとにして英文を作成する問題という構成です。広島県の受験生全体の平均点は23.9点で、昨年度の21.3点と比べると難易度は下がりました。選択式の問題は昨年度と比べて大きな変化はありません。選択式の問題の方が記述式の問題に比べて正答率が高いので、その部分で確実に正解した上で、残りの記述問題をどれだけ解けるかが合否を分けると考えられます。「記述問題・英作文」の力をどれだけつけることができるかがポイントです。

[1] リスニング：英文・質問は2度繰り返されます。

問題A：4つの対話文が読まれ、対話のあとに続く質問に記号選択で答える問題です。

正しい絵や資料を選ぶ問題や正しい文を選ぶ問題が出題されます。対話に出てくる情報(誰が・どこで・いつ・何を・なぜ)を正しく聞き取った上、あとに続く質問に答えます。

問題B：50語程度の英文を聞き、その内容に関する質問の答えを書く問題です。問題Aとは違い、自由記述になっています。

(広島県教育委員会発表の正答率は3.3%です。)

[2] 対話文：2020年度の構成は以下の通りです。

問1：数値読み取り…グラフと文章から正しい数値を読み取る問題です。

問2：内容把握…対話の前後関係から適切な選択肢を選ぶ空欄補充問題です。

問3：並べ替え…意味が通るように語を並べ替える問題です。

(広島県教育委員会発表の正答率は29.1%です。)

問4：適語補充…問題文中の空欄にふさわしい語を記号選択する、語句で記入する問題です。

問5：自由英作…下線部の内容に関連して、自分の意見を英作する問題です。

(広島県教育委員会発表の正答率は13.9%です。)

[3] 長文読解：2020年度の構成は以下の通りです。

- 問1：英問英答…本文の内容についての英語での質問に対して、英語で答える問題です。
- 問2：適語補充…問題文中の空欄にふさわしい語を1語で書く問題です。
- 問3：内容把握…下線部の内容を表しているふさわしい英文を選択肢から選ぶ問題です。
- 問4：適文補充…本文中の空欄にふさわしい英文を選択肢から選ぶ問題です。
- 問5：内容一致…本文の内容と合っている英文を選択肢から選ぶ問題です。
- 問6：自由英作…(1)と(2)共に本文の内容を踏まえて自由英作をする問題です。例年とほぼ同じ形で出題されています。(広島県教育委員会発表の正答率は(1)7.7%、(2)4.5%です。)

[4] 自由英作文

イラストと日本人高校生と留学生の対話を読み、空欄に当てはまる英語を書いて、対話を完成させる問題です。空欄は3つあり、書かせる語句数が増えるほど、正答率が低くなる傾向です。

(広島県教育委員会発表の正答率はA 23.9%、B 17.4、C 8.7%です。)

出題内容

分野		2018	2019	2020
リスニング	対話文	8	8	8
	英問英答	4	4	4
対話文読解	内容把握	6	4	2
	英文作成	4	3	4
	適語句・適文補充	4	10	8
	語句の並べかえ	0	0	2
長文読解	内容把握(記号選択)	2	2	2
	内容把握(適語補充)	2	0	2
	語句の並べかえ	0	2	0
	文の挿入・文の並べかえ	4	2	2
	内容一致文選択	2	2	2
	英文作成	5	5	4
	英問英答	4	4	4
英作文	適文補充(英文作成)	5	4	6
選択肢問題 配点		20	22	26
記述問題 配点		30	28	24

直前の勉強法

①リスニング

- 質問文の「最初の1語」を聞き逃がさないようにしましょう。
- メモをする練習が必要です。聞き逃すことなく重要事項をメモするようにしましょう。

②長文読解

- 長文読解が苦手な人は、たくさんの長文を読むだけではなかなか力はつきません。まずは1つの長文をしっかり日本語訳できるようにしてください。1つの長文の中にも様々な単語・文法があります。日本語訳できない部分を見つけたら、先生に聞いて1つ1つ解決していきましょう。

③英作文

- たとえ完璧な正解でなくても部分点をもらえることがあります。大問4で出題された自由英作文では、正答率が低い問題で8.7%でしたが、部分点も含めると50%を超える問題もあります。書きたい表現があって、それを英語にするのは難しいことが多いです。自分の書ける英語で表現することを意識してください。主語動詞を意識した英文作成の練習をしっかりと、まとまりのある英文を書けるようになれば、点数を獲得することができるようになります。